

第5回千葉大学G-COEシンポジウム
「Development and Maintenance of Immune Memory」
シンポジスト公募 日本免疫学会協賛

千葉大学グローバルCOEプログラムでは、「免疫システム統御治療学の国際教育研究拠点」というテーマで免疫の基礎及び臨床研究の推進とこれらの研究に携わる人材の育成をしています。

本拠点で行っている免疫の基礎研究では、特に「免疫記憶」の研究に焦点を当てています。近年、自然免疫系の研究成果が盛んに報告されていますが、「免疫記憶」は獲得免疫系の中心的テーマでありながら、いまだ解明されていない点が非常に多く、かつ、日本での研究の活性化が必要な分野だと認識しています。

そこで、「免疫記憶」に焦点を当てたG-COEシンポジウムを開催いたします。Plenary Lectureは、京都大学の本庶 佑先生にお願いしております。

また、本G-COEシンポジウムの開催日を日本免疫学会のシンポジウムと総会が東京で開催される日の翌日(12月4日)に設定して、上京した日本免疫学会員の参加も見据えています。さらに、翌年に予定されている第40回日本免疫学会学術集会(徳久会長)のプレシンポジウムの的な位置づけとしても捉えています。

本シンポジウムでは、20名程度の発表枠(20分or15分:英語)を予定していますが、シンポジストの約半数を公募いたします。特にアクティブに実験をされている若手の研究者の積極的な参加を希望しています。首都圏外からの発表者には宿泊費を千葉大学の規定により支給いたします。

免疫記憶を視野にいれた研究をされている若手研究者の積極的な応募を期待しています。

